キャラクター名
天道　翼

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	情報屋	カヴァー	
オプショナル		年齢	19	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	憎悪	初期侵食率	35 %
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	0	0	3			3
精神	2	0	0			2
社会	2	1	0			3

HP	30
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：裏社会	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	4r	6	Lv+6		
炎神全開・BURST FIRE	白兵	13r		10		通常コンボ　C値8　侵食率+11
炎神全壊・FULL BURST	白兵	15r		11		100%越え　C値7　侵食率+11

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

コネ・要人への貸し	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
復讐者	P	N		
復讐対象	P　執着	N ○憎悪		
家族	P ○懐旧	N　悔悟		
噂のヒーロー	P○好奇心	N 不信感		
幸(サチ)	P ○庇護	N　不安		
小野寺雄子	P○親近感	N　嫉妬		
春日恭二	P　感服	N ○侮蔑		

最大財産P:　6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：サラマンダー	2	2	メジャー					
効果：組み合わせた判定のクリティカル値を-LV（下限値７）								
氷炎の剣	2	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：そのシーンの間以下のデータの武器を作成し装備する								
炎神の怒り	4	3	メジャー			対決		
効果：このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+［Lv+1］個する。ただし、あなたは3点のHPを消費する。								
フレイムタン	1	2	メジャー	視界		対決		
効果 :このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更する。このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を-［5-Lv（最大０）］する。								
炎の刃	1	2	メジャー	武器		対決		
効果：このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+［Lv*2］する。								
終末の炎	1	2	マイナー	至近	自身	自動	80↑	
効果：［Lv×５］点まで任意のHPを消費する。そのメインプロセスの間、あなたが行う攻撃の攻撃力を+［消費したHP］する。								
結合粉砕	4	4	メジャー			対決	ピュア	
効果：このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+Lv個する。さらに対象の装甲値を無視してダメージを算出する。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ピュアサラマンダーのオーヴァードで日本人の青年。田舎でごく普通の高校生として生活を送っていたがある日普段通りに帰宅している最中に唐突に自分の家があるはずの場所から吹き荒れた炎に半身が焼かれる。

何が起こったのか理解の及ばぬまま焼かれた半身を引きずりながら自らの家があったはずの場所へ赴いた翼が見たものは焼けて崩れ落ちていく数件の家屋と人型の黒い何か、そしてその地獄絵図の中心に佇む何者かであった。

そのまま気絶して倒れた翼はオーヴァードの情報屋を名乗る男性に助けられる。彼曰く翼の家族を焼き殺した人物は彼が追っている重要指名手配犯らしく、彼がなんとか追い詰めたところで翼の家族を人質にしようとしてふとした拍子に暴走して焼き殺してしまったとのことだった。
その事件の影響でオーヴァードとしての力に目覚めた翼は彼の弟子として働き家族を焼き殺した男への復讐を決意し、そして現在に至る。
未熟な彼が復讐を果たす日は、来るのだろうか。

<能力>
周囲数十ｍを焼き尽くす強力な炎を使う相手に勝つにはそれを上回る炎しかないと思い至った翼は自らの肉体をも焼き尽くすほどの炎をもってして敵の炎すら焼き尽くすことを求める。
そのため火力の強化のみに重きを置いた修行ばかりしているため炎のコントロールはすこぶる雑である。自分の腕を氷で覆い、その上に炎を纏わせ剣の形にする氷炎の剣くらいしか出来ない。
その技を応用した結果自分の身体を氷で守ることで身体の負担は軽減できているが、やはり火力を上げすぎているため身体への負担は大きく、そんな技を修行し続けているため翼の皮膚の神経はほぼ機能しなくなっている。
因みに結合粉砕という巧みな技も使えるが使えるようになったのは修行の最中師匠を焼き殺してしまいそうになった際に緊急手段として師匠を氷で覆った結果更なる怪我に繋がったという経験からである。

<裏設定+今後の予定>(生き残れなかった場合無に帰す。ジャーム化した場合は可能？)